

給配水管設備工事の手引き

茨城県南水道企業団

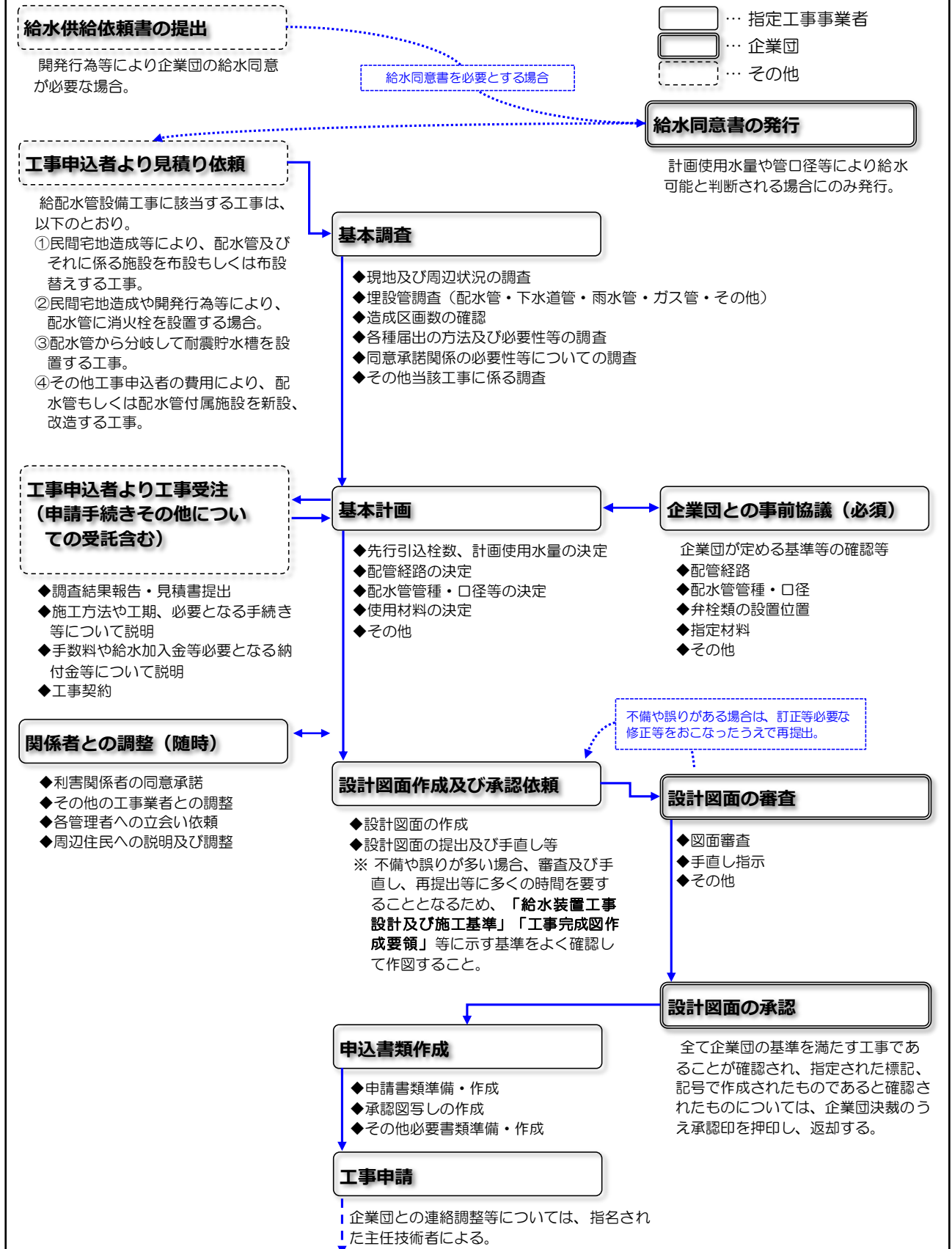
目次

1. 給配水管設備工事に係る各種手続きについて.....	- 1 -
2. 給配水管設備工事の手数料及び給水加入金について.....	- 4 -
(1) 手数料の区分及び金額.....	- 4 -
(2) 給水加入金の区分及び金額.....	- 4 -
3. 給配水管設備工事関連書類の様式について.....	- 5 -
4. 給配水管設備工事の基本計画.....	- 5 -
5. 給配水管設備工事の設計.....	- 5 -
6. 給配水管設備工事の図面作成.....	- 6 -
(1) 基本事項.....	- 6 -
(2) 作成方法.....	- 6 -
7. 給配水管設備工事の施工.....	- 12 -
(1) 基本事項.....	- 12 -
(2) 着工.....	- 12 -
(3) 配管工事.....	- 12 -
8. 工事記録写真の撮影について.....	- 17 -
(1) 基本事項.....	- 17 -
(2) 撮影方法.....	- 17 -
(3) 撮影箇所.....	- 17 -
(4) 工事記録写真用黒板.....	- 20 -

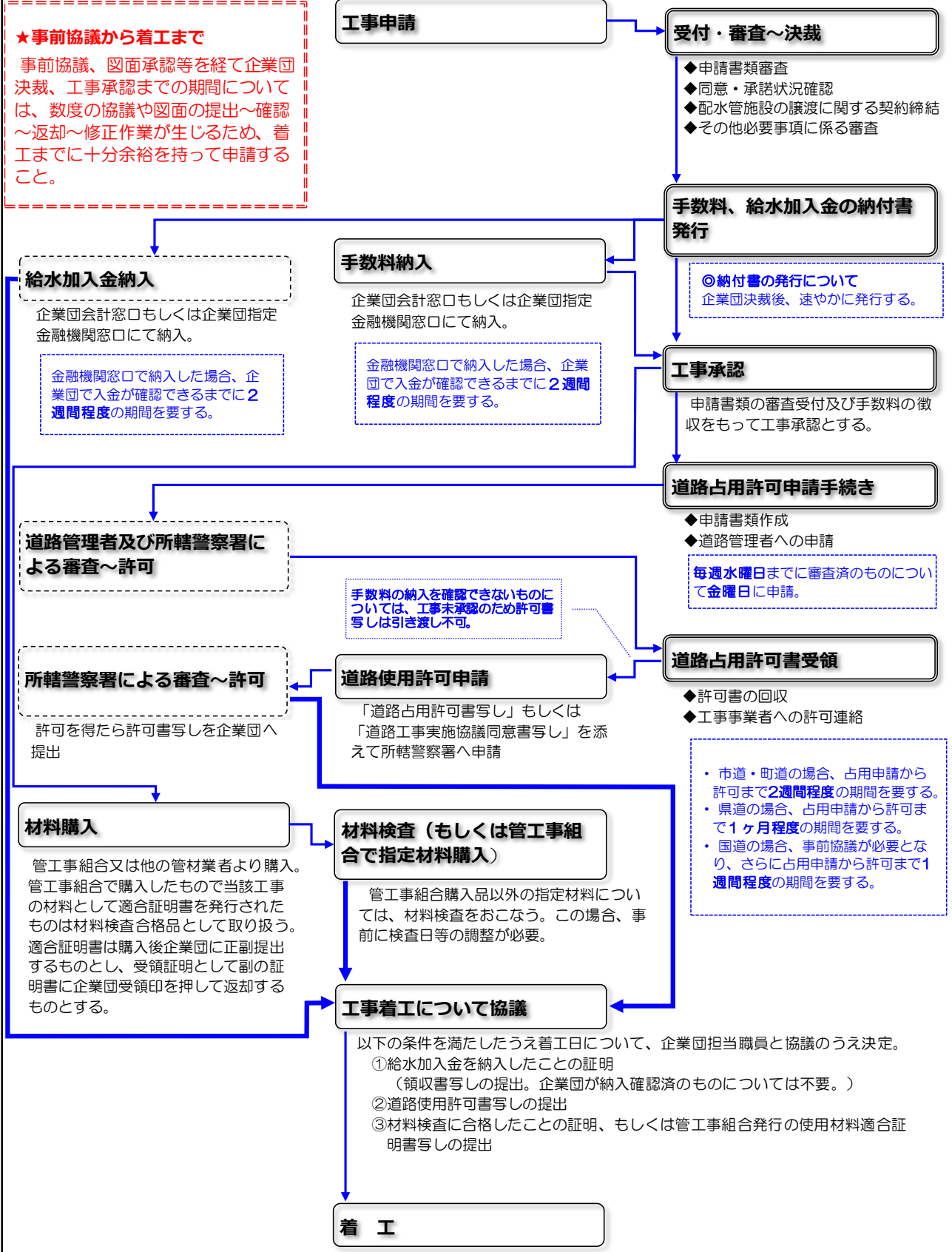
9. 工事竣工.....	- 21 -
(1) 竣工の届出.....	- 21 -
(2) 竣工図の様式.....	- 21 -
(3) 工事記録写真の提出.....	- 21 -
(4) 竣工検査.....	- 34 -

1. 給配水管設備工事に係る各種手続きについて

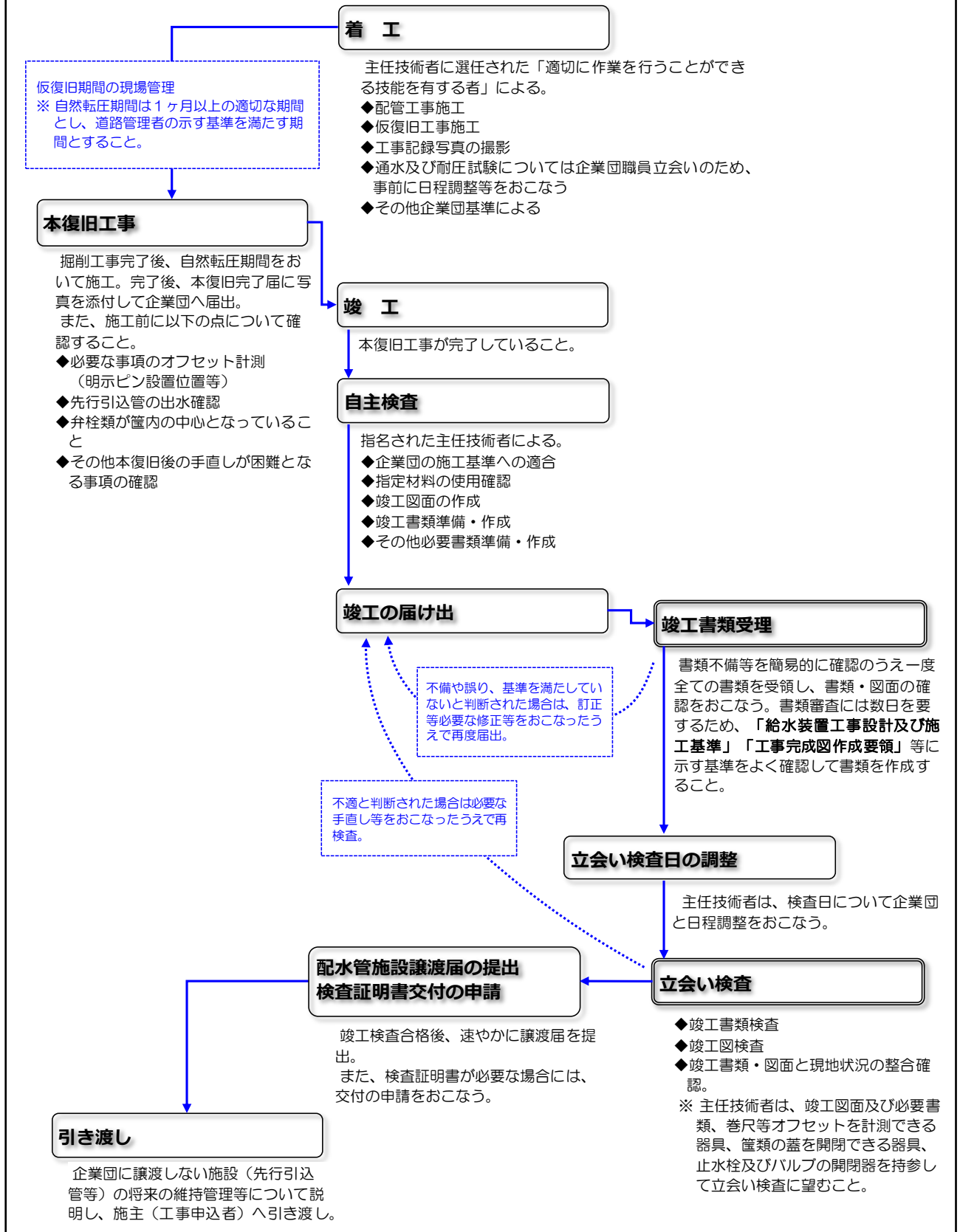
標準的な給配水管設備工事のフロー図 (1) (見積り依頼～工事申請まで)



標準的な給配水管設備工事のフロー図（２） （工事申請～着工まで）



標準的な給配水管設備工事のフロー図（3） （着工～引き渡しまで）



2. 給配水管設備工事の手数料及び給水加入金について

(1) 手数料の区分及び金額

区 分		単 位	金 額	備 考	
給配水管設備 工事 申請手数料	配水管口径 又は 分岐口径	口径 50 ミリメートル	1 申請当り	50,000 円	当該工事において分岐 又は延長する最大口径
		口径 75 ミリメートル以上	1 申請当り	100,000 円	当該工事において分岐 又は延長する最大口径
	先行引込管		1 栓当り	4,000 円	
仮設工事申請手数料			1 申請当り	1,000 円	
占用申請手数料			1 申請当り	2,000 円	

(2) 給水加入金の区分及び金額

(税込)

給水管の口径	加入金額	備 考
13 mm	160,000 円	散水栓・ワンルーム等の同時に複数栓使用することのない場合等
20 mm	220,000 円	戸建専用住宅、ファミリータイプの集合住宅 等
25 mm	250,000 円	2世帯住宅 等
30 mm	390,000 円	飲食店、美容室 等
40 mm	680,000 円	6世帯程度の集合住宅 等
50 mm	1,080,000 円	工場・学校・マンション 等
75 mm	2,230,000 円	工場・学校・病院・高層マンション 等
100 mm	3,850,000 円	
150 mm	8,110,000 円	
200 mm	11,270,000 円	
200 mmを超える	別途企業長が定める金額	

平成 19 年 4 月 1 日より

3. 給配水管設備工事関連書類の様式について

企業団支給品である「給配水管設備工事申込書」及び「給配水管設備工事竣工届（竣工台帳）」以外の様式については、企業団ホームページよりダウンロードして利用すること。

また、申請時に必要となる書類については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 9-10. 給配水管設備工事申請書類 -P163-」を、竣工時に必要となる書類は、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 15-2. 給配水管設備工事の竣工 -P199-」を参照して手続きをおこなうこと。

4. 給配水管設備工事の基本計画

基本調査や管種・口径の選定等の基本計画については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 2. 構造及び材質 -P36-」「給水装置工事設計及び施工指針 3. 給水装置工事の基本計画 -P48-」「給水装置工事設計及び施工指針 4. 給水装置としての基本構造 -P76-」の各基準に基づいておこなうこと。

5. 給配水管設備工事の設計

設計については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 5. 給水装置工事の設計 -P80-」に基づいておこなうこと。

6. 給配水管設備工事の図面作成

(1) 基本事項

図面を作成するに当り、標記の方法及び各図の作図方法については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 8. 設計図面の作成 -P134-」「給水装置工事設計及び施工指針 14. 竣工図面の作成 -P194-」の各項に基づいておこなうこと。

(2) 作成方法

① 図面の様式

用紙サイズは A-1 版サイズとし、指定色でカラー印刷したものを普通用紙(PPC用紙)で2部提出すること。

② 各図の配置

各図の配置は以下のとおりとし、記載しきれない場合には複数枚に分けて作図すること。ただし、その場合は『1.案内図 ⇒ 2.平面図 ⇒ 3.配管図 ⇒ 4.その他詳細図』の順で作成すること。また、工事内容枠は全てに記載すること。

案内図	平面図 (S=1/500)
復旧断面図 給水標準図 付属設備設置図 詳細図	配管図 (S=FREE) オフセット図 (S=1/250)
	工事内容枠

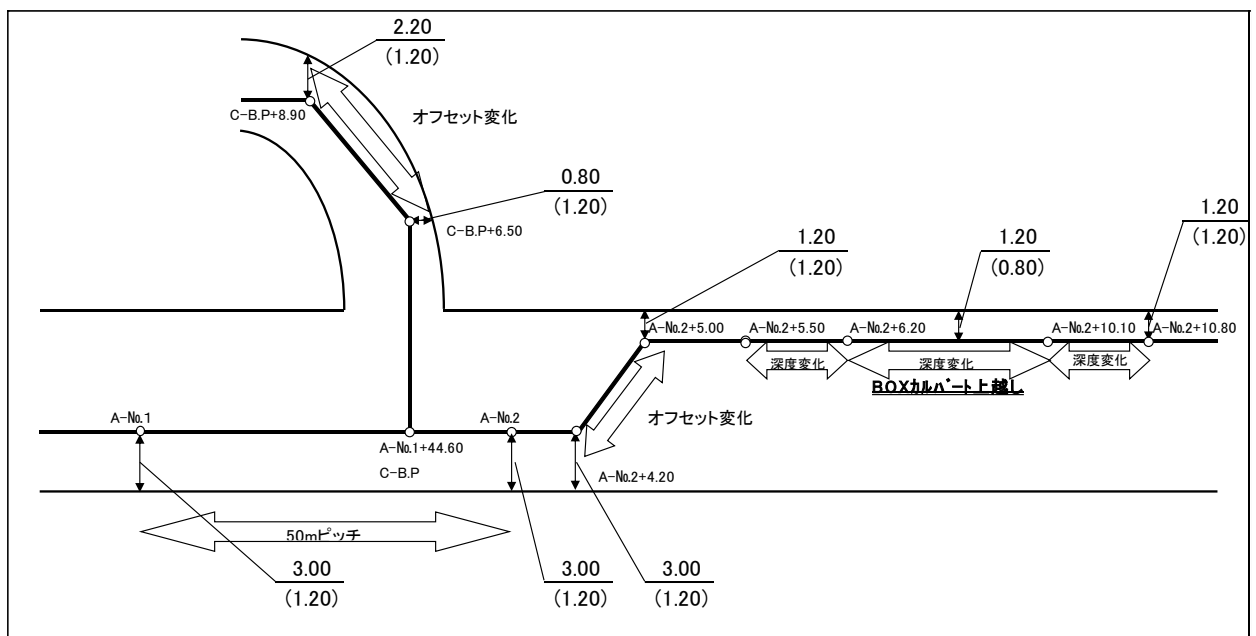
③ 記載する図

記載する図は、案内図、平面図、配管図、復旧断面図、給水標準図、付属設備（仕切弁筐・消火栓室など）設置図、詳細図、オフセット図、その他必要な図とし、それぞれ以下の各項に基づいて作図すること。

1) 案内図

- 必ず北を上にして記載するものとし、方位記号を明示すること。
- 工事箇所が分かるように、周辺の目印になるような箇所も含めて記載すること。
- 縮尺は、区画等が判別できる住宅地図等を利用するものとし、工事箇所を赤太線にて図示すること。
- 申請地の敷地全体を赤線で囲んだうえ枠内に斜線を引き、引出し線により「工事場所」と明示すること。

2) 平面図



- 縮尺は 1/500 とし、マッピングシステムより出力した背景図を使用し、方位を記入すること。基となる地形図については、1/500 以上の精度で作成された道路台帳現況平面図、地積測量図、その他計画図を利用するものとし、住宅地図、都市計画図(1/2500)などを基とした図面は認めない。
- 当企業団の配管台帳に記載するため、オフセット値より正確に記入すること。
- 当該工事で不要な污水管、排水管、又はそれらに係る寸法等に係る部分については削除すること。
- 管路の情報を記入する場合は、管種・口径及び接合形式を記載すること。これは全ての管の記入に適用されるものとする。（例：DIP-GX 型 S 種管）
- 始点・終点についてはオフセット図より正確に記入すること。
- 仕切弁・消火栓・空気弁などの付属設備の設置位置については、オフセット図から正確に記入すること。

- 管を曲管などによって平面的に曲げて施工した場合、位置と角度を正確に記入すること。
- 始点を B.P として、50m毎に No. を定め、終点を E.P と定めてその位置を明記すること。また、これ以外にも曲管・分岐管を使用した場合及び、それ以外に占用位置・深度の変化があった場合はその位置を明記し、その位置の前の No. からの延長を記載すること（例：No.2+1.60 等）。
- 各 No. 及び伏せ越し部、または占用位置・深度の変化部については測量を行い、O.F 値(オフセット)及び D.P 値(土被り)を記入すること。
- 伏せ越しがあった場合は、その中心となる位置で測量を行い、その O.F 値及び D.P 値を記入すること。また、平面図上の該当箇所にそれを明記すること。さらに、管路延長上に構造物等がある場合は、それも明記すること。
- 栓止め・曲がり点については位置・O.F 値・D.P 値を平面図上で明記すること。

3) 配管図

- 縮尺についてはフリーとするが、方位や作図範囲は平面図に合わせて記入すること。
- 寸法については mm 単位とする。
- 直管部はその本数（N=〇〇）を記載し、それ以外のものに関しては、管種・口径・形状について記載すること。
- 切管については形状寸法（甲・乙）を記載すること。
- 管の伏せ越し部については、別途詳細図を記載すること。

4) 復旧断面図

- 標準の復旧断面図を記載すること。路盤構成については、路線等によって幾つかの種別がある場合は、それぞれ記載すること。
- 新設管・埋設シートを埋設位置に記入し、その埋設深を明記すること。

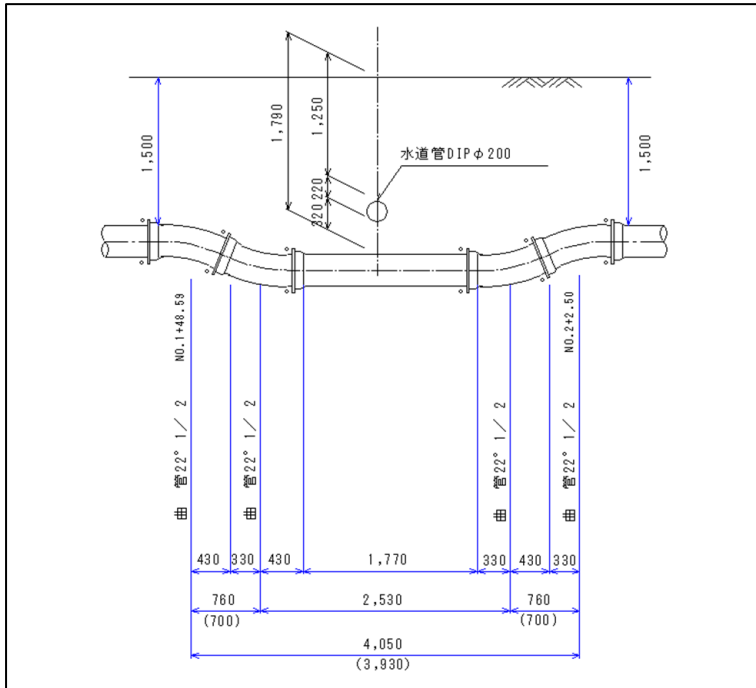
5) 給水標準図

- 先行引込管を新設する場合には、給水管布設配管詳細図に管種・口径及び標準使用材料を明記すること。

6) 付属設備（仕切弁筐・消火栓室など）設置図

- 仕切弁・消火栓・空気弁等の付属設備を設置する場合には、詳細な設置図を別途記載すること。

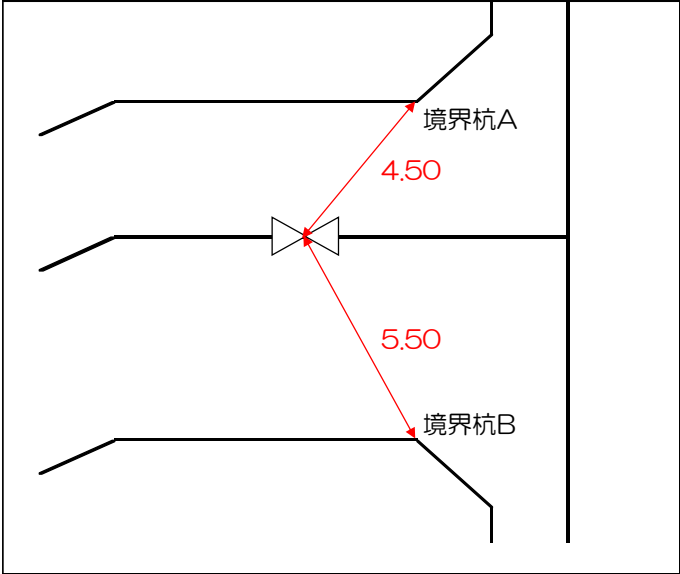
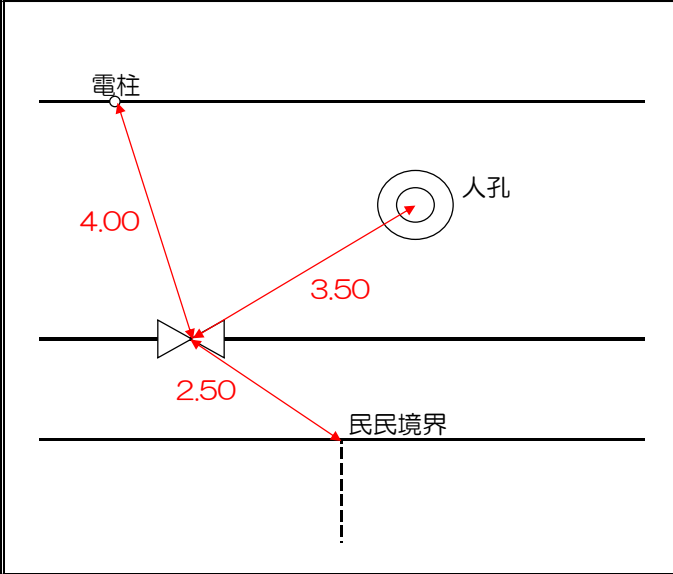
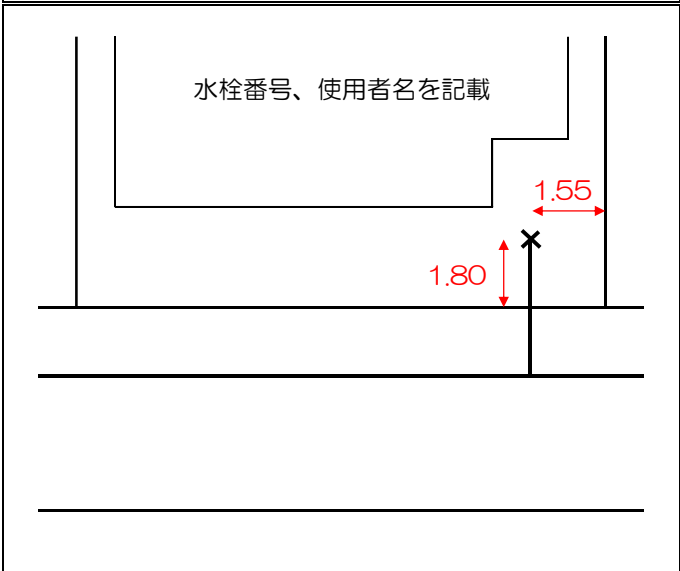
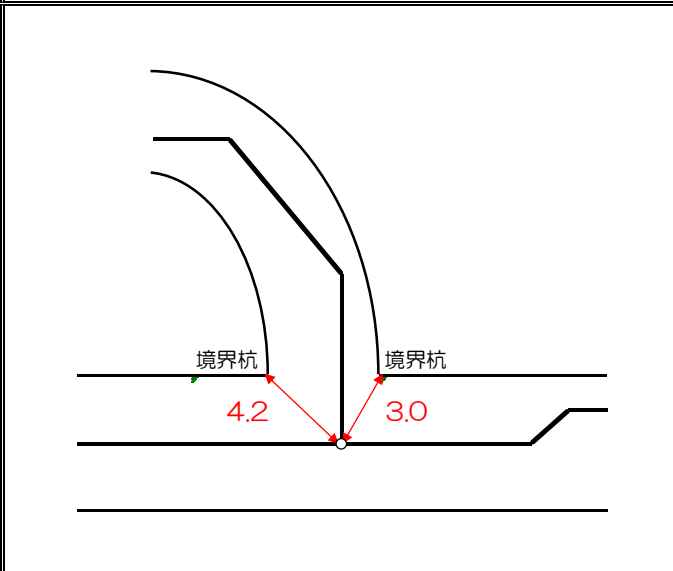
7) 詳細図



- 管の伏せ越し部については、その原因となる構造物などがある場合はそれらを記入し、可能な限りそれとのオフセットも記載すること。
- 管を構造物その他の理由により、平面的に曲げて施工した場合、別途詳細図を記載すること。また、可能な限りそれら構造物とのオフセットを記載すること。
- 配管図上で図示しきれないもの（排泥部・不断水分岐部 等）について記載すること。

8) オフセット図

- 下記のものについて、別途オフセット図を記載すること。
 - i) 弁栓類（仕切弁・消火栓・空気弁など）
 - ii) 配水管上の分岐点
 - iii) 既設配水管との接続位置及び分岐点
 - iv) 敷地内第一バルブ（乙止水栓・制水弁）の位置
 - v) その他監督職員が指示した位置
- 縮尺は 1/250 とする。ただし、1/250 での作図が困難な場合、監督職員の許可で縮尺の変更を行うことができる。この場合、その縮尺を図面上に明記すること。
- オフセット値の記入方法については以下の各図のとおりとするが、複雑な場合のみ表形式とすることができるものとする。

<p>例1：オフセット図は基本的に別図として作成し、2点からのオフセットとする。</p> 	<p>例2：正確な測点がない場合、監督職員と協議の上、目印になる構造物などから測量し、その場合は3点からのオフセットをとること。</p> 
<p>例3：宅内給水管の止水栓オフセットについては2点オフセットとする。</p> <p>水栓番号、使用者名を記載</p> 	<p>例4：分岐箇所については2点オフセットとする。</p> 

- 基本的には2点からのオフセットとし、境界杭から測量すること。ただし、境界杭からの測量が困難な場合、監督職員の許可を得た上で、不動点となる構造物（ブロック塀やマンホールなど）を明記し、測点とすることができるもとする。この場合、3点から測量しなければならないものとする。

9) その他必要な図

- その他企業団職員に指示された場合、もしくは別途明示する必要がある場合には必要な図を記載すること。

10) 工事内容枠

- 以下の様式で必要事項を記入すること。

設計図

竣工図の場合は“竣工図”
とすること。

工 番	令和〇〇年度 給配工 第〇〇号				
工 事 名	給配水管設備工事				
工 事 区 間	〇〇市〇〇町〇丁目〇番地先～ 〇〇町〇丁目〇番地先間				
図 面	〇/〇	図 種	〇〇	縮 尺	〇/〇
管路台帳番号					
指定工事業者	〇〇〇〇〇〇 (印)				

※ 〇に必要事項を明記。

7. 給配水管設備工事の施工

(1) 基本事項

給配水管設備工事の施工については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 13. 工事の施行 -P179-」の各基準に基づいておこなうこと。

また、上記に記載のない事項については、以下の各項に従っておこなうこと。

(2) 着工

工事に着工する際は、事前に企業団担当職員にその旨報告すること。着工するには以下の事項を全て完了していることが条件となるため、事前に全て処理していなければならない。

- ・ 必要書類が全て提出されていること。
- ・ 申請手数料及び給水加入金の納入が確認されていること。
- ・ 必要に応じて道路占用許可及び道路使用許可を得ており、それを証明していること。
- ・ 材料検査に合格していること。

(3) 配管工事

① 管の据付け

管の据付けに先立ち、管体検査を十分に行い、亀裂その他の欠陥のないことを確認しなければならない。また、原則として低所から高所に向けて行い、受け口は高所に向けて配管しなければならない。

管を据え付ける場合は、管体の表示記号等により管の形状・寸法等を確認しなければならない。また、ダクタイル鋳鉄管の場合は、受け口部分の呼び径・年号を、上に向けて据え付けなければならない。

管の据付けに当たっては、管内部を十分清掃し、水平器、型板、水系等を用いて中心線及び高低を確認しなければならない。また、直管を据え付ける場合は、一定以上の角度で接合してはならない。

管が既設埋設物と交差する場合は、30cm以上の離隔をとらなければならない。また、管に影響を与えないように床面を仕上げ、必要に応じて砂または枕木等の措置を講じなければならない。

一日の布設作業完了後は、管内に土砂、汚水等が流入しないように管の末端を塞がなければならない。また、管内には、ウエス、工具等を置き忘れないように注意しなければならない。

② HPPE の接合

水道配水用ポリエチレン管の接合は、水道配水用ポリエチレン配管技能者が行わなければならない。

また、配水用ポリエチレンパイプシステム協会発行の水道配水管ポリエチレン管及び管継手施工マニュアルを理解し、常に現場に携帯していなければならない。

1) EF 接合

- 管の切断は、所定のパイプカッターを使用し、管端が直角になるように切断すること。
- 管に傷がないかを点検し、管端 200mm 以上の範囲を全周にわたり清掃すること。
- 管端から、規定の差込長さの位置に標線を記入し、切削面をマーキングすること。
- スクレーパーを用いて、管端から標線までのマーキングが消えるまでを、完全に切削すること。
- 管の切断面と EF 継手の内面全体をエタノールまたはアセトン等を浸み込ませたペーパータオルで清掃すること。また、清掃は素手で行うこと。
- 切削・清掃済みの管に EF 継手を挿入し、端面に沿って全周にマーキングを行うこと。
- 管に EF 継手を標線位置まで挿入し、クランプを用いて管と EF 継手を固定し、一直線になっていることを確認すること。
- 融着に当たっては、専用のコントローラーと、専用の発電機を使用し、規定の操作方法に随い融着を行うこと。
- 融着終は、EF 継手のインジケータが突起していること確認し、必ず規定の時間まで冷却すること。
- 接合作業は、その都度必要事項を、EF 接合チェックシートに記入しながら行うこと。

2) メカニカル接合

- メカニカル接合は、企業団の承認を得たうえで使用するものとする。
- インナーコアなしの企業団指定材料を使用し、メーカー取扱説明書を確認すること。
- 管の切断は、所定のパイプカッターを使用し、管端が直角になるように切断すること。
- 管に傷がないかを点検し、管端 200mm 以上の範囲を全周にわたり清掃すること。
- 管端から、規定の差込長さの位置に標線を記入し、切削面をマーキングすること。
- 標線まで管を挿入し、メーカー規定の接合手順で接合し、標線の確認をすること。

3) 断水工事

- 断水工事においては、施工時間が制約されるため、十分な事前調査、準備を行うとともに、円滑な施工ができるよう経験豊富な技術者と作業員を配置し、迅速、確実な施工を行うものとする。
- 断水工事は、企業団営業日におこなうものとし、施工日、施工時間及び当日の工程等については、影響範囲内の需要者の状況を調査したうえで企業団担当職員と十分協議のうえ決定すること。
- 断水時間は排泥作業、通水作業時間も含むため、それらの作業時間を考慮して決定すること。

- 断水対象となる住民に対しては、事前に企業団職員の承認を得たうえで広報文書を作成し、断水予定日の3日前までに配布すること。特に飲食店や美容室、スーパー等の業務に支障が生じる対象者等については、口頭で十分説明のうえ広報すること。
- 通水作業後、速やかに断水区域内及び濁水影響範囲の濁り及び未通水管の有無等を確認すること。
- 異常が発見されない場合でも、その後の不測の事態に備えて、当日は、即応できる体制を整えておくものとする。
- 断水工事に伴う濁水発生に備え、メータを取り外して排水作業を行える器具を用意しておくとともに、濁水発生時には、メータを取り外して排水作業を行うものとする。
- 濁水、濁水によるストレーナー等の詰り、及び断水に伴う苦情等を受けた場合には、速やかに対処するとともに、企業団職員に報告するものとする。

4) 不断水穿孔工事

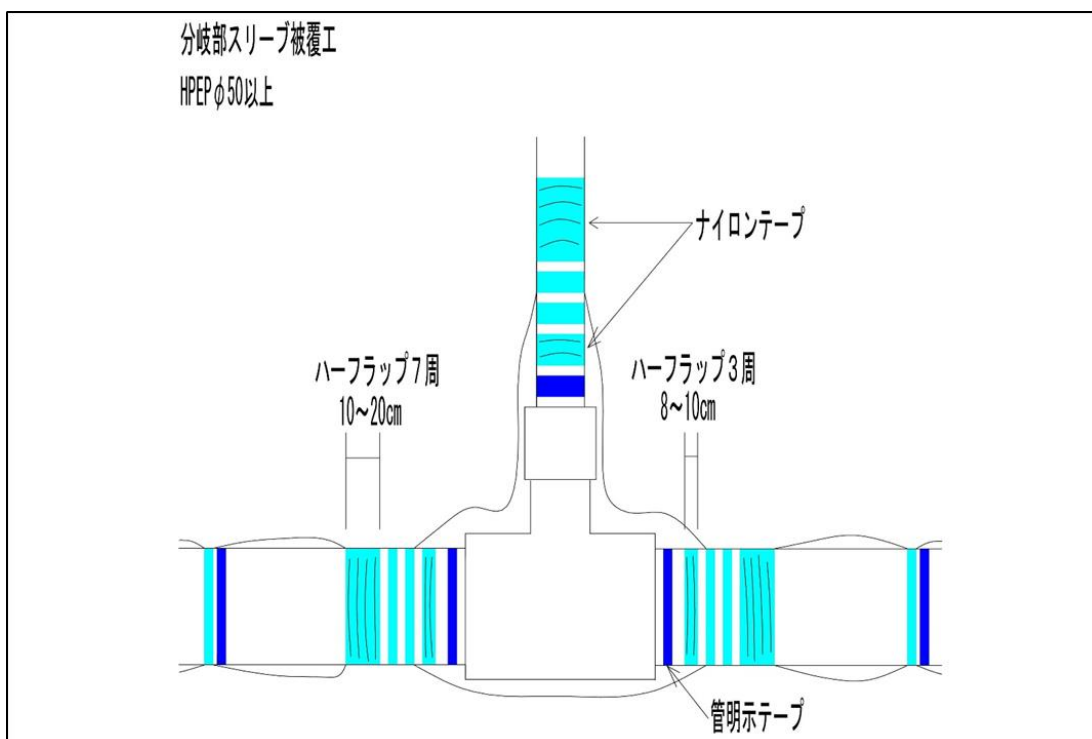
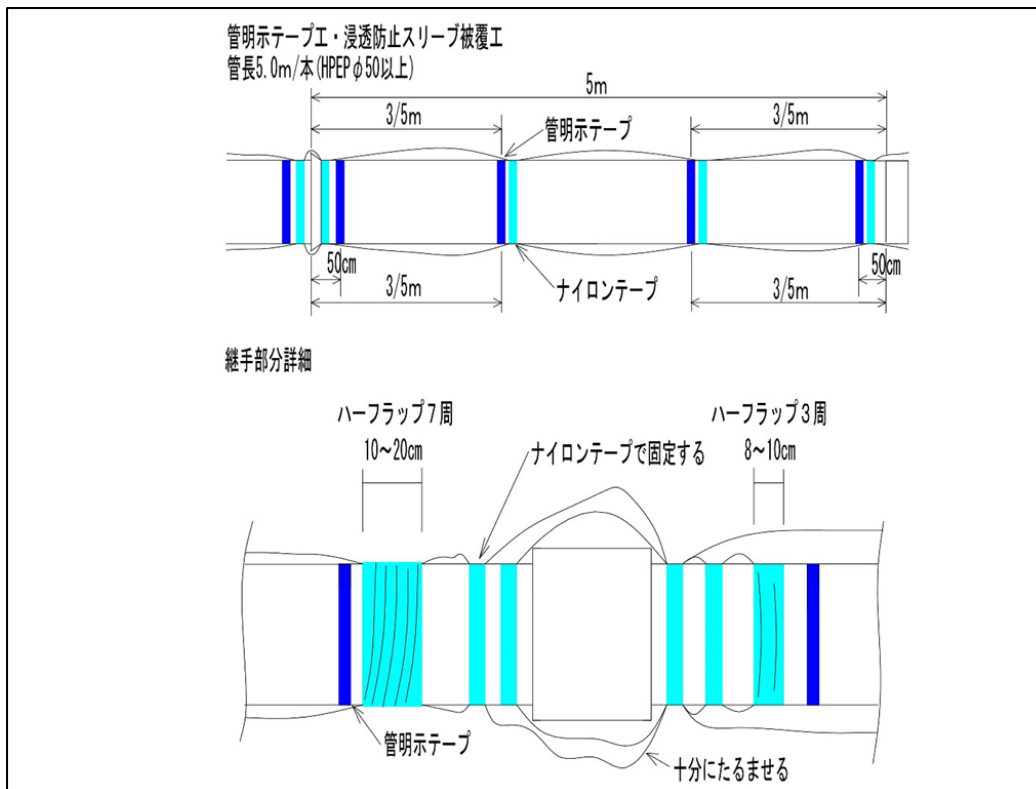
- 不断水穿孔工事の実施時期については、事前に企業団担当職員と十分協議のうえ決定すること。
- 使用する穿孔機及び、穿孔技術者は、企業団職員に承認を得た者でなければならない。
- 割T字管を分岐元管に取り付けた後、企業団職員立ち会いのもと耐圧試験を行うこと。試験内容は、0.75 MPa で5分間水圧を保持し、漏れがないものとする。
- 耐圧試験合格後、穿孔する際には切屑、切断片等を排出したことを確認すること。

5) 被覆工

- HPPE には、すべて有機溶剤浸透防止ナイロンスリーブを被覆するものとする。

6) 管明示工

- 埋設シートは、埋設管上から地表面までの中間深度に布設すること。
- 明示テープ及びナイロンテープは、以下のとおり設置すること



7) 先行引込管

- 先行引込管については、基準書に基づいて設置するものとし、必ず明示ピンを設置すること。

8) 各種検査

- 耐圧試験等の各種検査項目については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 16-2. 主任技術者の検査項目 -P201-」に基づいておこなうこと。

8. 工事記録写真の撮影について

(1) 基本事項

工事記録写真の撮影については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 13-9. 工事記録撮影基準 -P190-」の各基準に基づいておこなうこと。

また、上記に記載のない事項については、以下の各項に従っておこなうこと。

(2) 撮影方法

工事記録写真は、デジタルカメラで撮影するものとする。

(3) 撮影箇所

配水管に係る撮影箇所については、次表の項目について撮影すること。

区 分	撮影箇所	撮影時期	撮影頻度	撮影方法等
着工前全景	着工前全景	着工前	ポイント毎	施工場所全体及び周辺状況も確認できるよう撮影すること。 工事着工前・完了後で対比できるように同一方向で全景を撮影すること。 ただし、宅地造成等により着工前と完了後で地形等が大きく変化する範囲については不要とする。
材料検査	検査実施状況	材料検査時	検査実施毎	企業団担当職員立会いのもと、直管、異形管、接合部材に分けて撮影すること。
土工（掘削）	舗装版切断状況	切断状況	ポイント毎	掘削幅、深度の実測値を黒板に記入し、スタッフ、リボンを使用して撮影すること。 また、現況路盤構成等が確認できるように撮影すること。
	掘削出来形	掘削完了後	ポイント毎	
土工（埋戻し）	砂埋戻し状況	敷き均し・締め固め時一層毎	ポイント毎	0.2m毎敷き均し・締め固め後の出来形計測状況を撮影すること。
	下層路盤工施工状況	敷き均し・締め固め時一層毎	ポイント毎	0.2m毎敷き均し・締め固め後の出来形計測状況を撮影すること。
	上層路盤工施工状況	敷き均し・締め固め時一層毎	ポイント毎	0.15m毎敷き均し・締め固め後の出来形計測状況を撮影すること。
	仮復旧完了後全景	仮復旧完了後	ポイント毎	使用材料を黒板に記入して撮影すること。 着工前全景と同一方向で撮影し、着工前の状況と比較できること。

区分	撮影箇所	撮影時期	撮影頻度	撮影方法等
土工（本復旧）	着工前全景	本復旧施工前	ポイント毎	完了後の状況と比較できるように撮影すること。
	不陸整正状況	敷き均し・締め固め後	ポイント毎	敷き均し・締め固め後の出来形計測状況を撮影すること。
	明示ピン設置状況	設置後	設置箇所毎	先行引込管を布設する場合、もしくは分岐部から直角かつ直線で引き込むことができない場合については、明示ピンを規定の位置に設置し、その状況を撮影すること。
	本復旧完了後全景	本復旧完了後	ポイント毎	使用材料及び出来形寸法を黒板に記入して撮影すること。 着工前全景と同一方向で撮影し、着工前の状況と比較できること。
管布設工	布設状況	施工中	ポイント毎	管種・口径を黒板に記入し、全景で撮影。
	布設完了	布設完了後	布設毎	管種・口径、配管詳細図、管体番号を黒板に記入し、全景で撮影。
管融着接合工	融着状況	施工中	接合箇所毎	接合管理黒板を使用し、固定クランプが付いている状態で管体番号が確認できるように撮影。
	融着完了	融着完了後	接合箇所毎	接合管理黒板を使用し、固定クランプが付いている状態で管体番号、インジケータ突起、クランプ取り外し時刻が確認できるように撮影。
耐圧試験	耐圧試験状況	耐圧試験時	耐圧試験毎	耐圧試験については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 16-2. (2) 耐圧試験 -P202-」に示したとおりおこなうこと。
管明示シート工	深さ	シート布設完了後	ポイント毎	G.L からの深さを黒板に記入し、スタッフ等を使用して撮影。
管明示テープ工	取付状況	取付完了後	ポイント毎	掘削断面内又は地上部で撮影。
有機溶剤浸透防止剤被覆工	取付状況	取付完了後	ポイント毎 (分岐部は全て)	掘削断面内又は地上部で撮影。
既設管切断工	切断状況	施工中または施工後	切断箇所毎	既設管の管種・口径を黒板に記入して撮影。
既設管撤去工	撤去状況	施工中	ポイント毎	既設管の管種・口径を黒板に記入して撮影。
切管検収	寸法	管切断後	切管毎	管種・口径、管体番号、寸法、甲切か乙切管かを黒板に記入し、リボンで寸法が見えるよう撮影。
オフセット	管布設位置・深さ	オフセット計測後	ポイント毎	官民境界からの距離、G.L からの深さを黒板に記入し、スタッフ、リボンを使用して撮影。
	管布設位置	オフセット計測後	異形管設置箇所毎及び既設管接続箇所毎	配管詳細図に境界杭(プレート)からの2点の距離を記入し、対象となる異形管の材料名・口径、もしくは、既設管の管種・口径を黒板に記入し撮影。
仕切弁・弁筐設置工	設置状況	設置完了後	設置箇所毎	口径・管種・管体番号を黒板に記入して撮影。
消火栓・消火栓ボックス設置工	設置状況	設置完了後	設置箇所毎	口径・管種・管体番号を黒板に記入して撮影。(空気弁設置工はこれに準じる。)

区分	撮影箇所	撮影時期	撮影頻度	撮影方法等
不断水穿孔工	設置状況	施工中	設置箇所毎	管種、口径、材料名を黒板に記入して撮影。
	穿孔状況	施工中	設置箇所毎	管種、口径、材料名を黒板に記入して撮影。
	切片確認	穿孔後	設置箇所毎	穿孔した切断片が確認できるよう撮影。
	弁体取付状況 (不断水仕切弁)	施工中	設置箇所毎	管種、口径、材料名を黒板に記入して撮影。
	コア挿入状況 (不断水割 T 字管)	挿入前	設置箇所毎	コアが付いているのが確認できるよう挿入機を撮影。
		挿入後	設置箇所毎	コアが挿入できたのが確認できるよう挿入機を撮影。
設置完了	設置後	設置箇所毎	管種、口径、材料名を黒板に記入してポリエチレンスリーブ被覆完了後に撮影。	
完了後全景	完了後全景	完了後	ポイント毎	<p>施工場所全体及び周辺状況も確認できるよう撮影すること。</p> <p>工事着工前・完了後で対比できるよう同一方向で全景を撮影すること。</p> <p>ただし、宅地造成等により着工前と完了後で地形等が大きく変化する範囲については不要とする。</p>
その他		必要に応じて撮影	必要箇所を撮影	工事状況や補償対策など必要と考えられるものを撮影すること

(4) 工事記録写真用黒板

工事記録写真用黒板を使用し、黒板には以下の項目について明示して撮影することとし、明暗や逆光、背景等に注意して撮影することとし、撮影後直ちに写真を確認し、不明瞭な場合には撮りなおすこと。

- ・ 給水装置工事受付番号
- ・ 撮影年月日
- ・ 指定工事業者名
- ・ 撮影内容・測点
- ・ 配管図、寸法、使用材料等の必要事項

また、EF 接合箇所については、次の黒板仕様によること。

① 融着状況

工 事 名	令和〇〇年度 給配工 第〇〇〇〇号 給配水管設備工事		
工 種	管融着接合工	測 点	
管体 No.〇〇 / No.〇〇		HPPE φ〇〇〇	
挿口マーキング	✓	配管状況	✓
スクレープ完了	✓	インジケータ確認	
清掃（挿口／受口）	✓	融着接合完了	
挿入ークランプ固定	✓	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
		施 工 者	〇〇〇〇〇〇建設(株)

② 融着完了

工 事 名	令和〇〇年度 給配工 第〇〇〇〇号 給配水管設備工事		
工 種	管融着接合工	測 点	
管体 No.〇〇 / No.〇〇		HPPE φ〇〇〇	
挿口マーキング	✓	配管状況	✓
スクレープ完了	✓	インジケータ確認	✓
清掃（挿口／受口）	✓	融着接合完了	✓
挿入ークランプ固定	✓	平成〇〇年〇〇月〇〇日	
		施 工 者	〇〇〇〇〇〇建設(株)

9. 工事竣工

(1) 竣工の届出

工事竣工の届出については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 15-2. 給配水管設備工事の竣工 -P199-」に基づいておこなうこと。

また、上記に記載のない事項については、以下の各項に従っておこなうこと。

(2) 竣工図の様式

竣工図は、普通用紙（A1 PPC用紙）で出力したものを2部提出し、元データはDXF・DWG・PDF（A3）3種類の形式で工事記録写真と同じDVD-Rに書込んだものを提出しなければならない。ただし、DWGの代わりにSFCでもよいものとする。

(3) 工事記録写真の提出

① 提出方法

工事記録写真として写真帳を1部提出し、さらにこれを以下の基準に従ってDVD-Rに書込んだものを提出しなければならない。

② 準拠する要領・基準

電子納品物については、本手引書に基づいて作成するものとし、本書に記載のないものについては、国土交通省が公表している以下の要領・基準を参考にして作成すること。

【国土交通省】

- 工事完成図書の電子納品等要領
- デジタル写真管理情報基準

※ 上記各要領・基準は以下のサイトよりダウンロードすることができます。

国土交通省 http://www.cals-ed.go.jp/cri_point/

② 使用するソフトウェア

提出する写真の整理には(株)ワイズのQuickProject PhotoManagerを使用するものとする。

【QuickProject PhotoManager 商品情報・問合せ先】

株式会社ワイズ

TEL : 026-266-0710

HP : <http://www.wise.co.jp/>

※ QuickProject PhotoManager は無料で1年間フリー版をダウンロードして試用することが可能。

<http://www.wise.co.jp/quickproject/pm/>

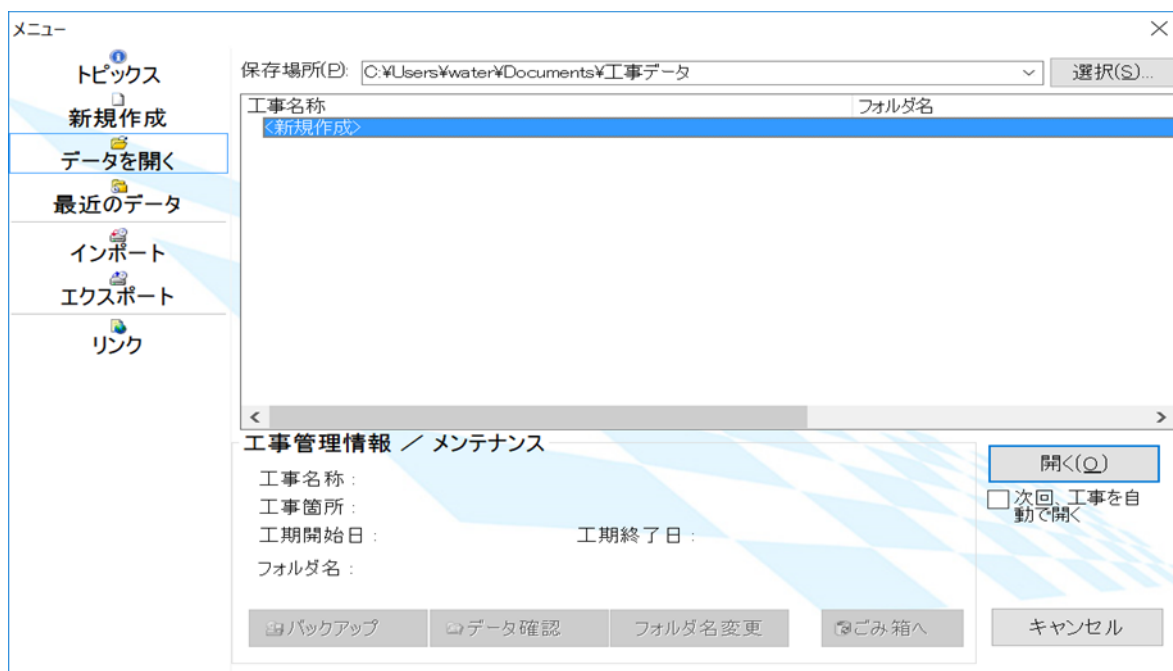
③ QuickProject PhotoManager の設定内容

工事記録写真として写真帳を 1 部提出し、さらにこれを以下の基準に従って DVD-R に書込んだものを提出しなければならない。

1) 各種設定

以下の手順に従って、必要な入力をおこなうこと。

① QuickProject PhotoManager を開き、「新規作成」を選択する。



- ② 工事名を入力し、作成場所を選択する。必要事項を全て入力後、「新規作成」ボタンを選択する。

新規作成

新しいデータの作成
工事の名称及びデータの作成先を指定します

工事名称(N):
平成30年度 県南給配工第〇〇号

フォルダ名(E):
平成30年度 県南給配工第〇〇号

作成場所:
HYY平成30年度 県南給配工第〇〇号 選択(S)...

出来形管理書類に関するデータを自動作成する
PhotoManagerで入力された施工管理値などから、出来形管理書類の作成に必要なデータを自動作成します。
※書類の出力には[出来形マネージャ]を使用します

新規作成(O) キャンセル

- ③ 下図の画面が開くが、特に設定を必要とする項目はないため、デフォルトの状態のまま「OK」ボタンを選択する。

適用する要領・基準(案)の選択

要領・基準の選択
適用する要領・基準の種類を一覧から選択してください。どの要領・基準を適用するかは、工事・業務の契約時期や発注者との協議内容等によって異なります。

分類(S): 土木・電通・機械設備 工事 現行・最新版のみ表示(L)

要領・基準(E): 国土交通省 工事完成図書の電子納品等要領 (H28.3)

工事情報: 工事完成図書の電子納品等要領 平成28年3月 国土交通省 チェック設定(O)...

写真情報: デジタル写真管理情報基準 平成28年3月 国土交通省 チェック設定(E)...

説明
工事情報を「工事完成図書の電子納品等要領 平成28年3月」、写真情報を「デジタル写真管理情報基準 平成28年3月」に沿って作成します。
平成28年4月以降に契約を締結する直轄工事から適用します。

OK キャンセル

- ④ 工事情報入力ウィンドウが自動的に開くため、「工事件名等1」タブの各項については、以下のとおり入力する。

工事情報

適用要領: 工事完成図書の電子納品等要領 平成28年3月 国土交通省

工事件名等1 | 工事件名等2 | 場所情報/施設情報 | 水系-路線情報 | 発注者/受注者 | その他

発注年度(Y): 2018

工事番号(N): 201843011

工事名称(K): 平成30年度 県南給配工第〇〇号

コリンズ登録番号(R): 0 番号なし(O) ※ない場合は「0」を入力

工事分野(E): 上水・工業用水

工事業種(G): 水道施設工事

工種-工法型式(D): 上水・工業用水道工事 送配水施設工

追加(A)...
編集(S)...
削除(D)

地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号(数字8桁～16桁)を記入します。

■ は提出時の必須記入項目です コリンズ(C)... テクリス(T)... OK キャンセル

【発注年度】工事が受付された年度を選択する。

【工事番号】以下のルールに従って7桁の数字を入力する。

- ・最初の4桁…受付年度を西暦4桁で入力
- ・続く2桁…給配工の指定番号「43」を入力
- ・最後の3桁…工事毎に付与されている番号を右詰め3桁で入力。

例) 平成30年度 給配工第11号の入力をおこなう場合

201843011

└────────┘ └────────┘ └────────┘

受付年度 給配工番号 工事番号

【工事名称】工事名称をそのまま入力する。

【コリンズ登録】コリンズ登録番号は不要のため「番号なし」ボタンを選択することにより“0”を入力する。

【工事分野】“上水・工業用水”を選択する。

【工事業種】“水道施設工事”を選択する。

【工種-工法型式】“上水・工業用水道工事” - “送配水施設工”を選択する。

⑤ 続いて「工事件名等2」タブを選択して、以下のとおり各項の入力をおこなう。

工事情報

適用要領: 工事完成図書電子納品等要領 平成28年3月 国土交通省

工事件名等1 | 工事件名等2 | 場所情報/施設情報 | 水系-路線情報 | 発注者/受注者 | その他

住所情報(J): (住所) 08208 茨城県龍ヶ崎市長山1丁目5-2 番地先

追加(A)...
編集(S)...
削除(L)

工期開始日(B): 2018/05/02

工期終了日(E): 2018/08/31

工事内容(N): 給配水管設備工事

工事箇所(P):

工事の施工場所を記入します。原則として契約図書に記載されている工事箇所を記入します。表紙印刷機能で使用する項目です。以前の基準案で使用されていましたが、現在の要領案では使用されていない項目のため空欄で構いません。

■ は提出時の必須記入項目です

コリンス(C)... テクリス(T)... OK キャンセル

【住所情報】工事場所の住所を入力する。市町までは選択方式により入力し、以降は当該項目をダブルクリックすることで直接入力が可能となるため、必ず番地まで入力すること。

【工期開始日】当該工事の工期開始日を入力する。

【工期終了日】当該工事の工期終了日を入力する。

【工事内容】“給配水管設備工事”と入力する。

【工事箇所】入力不要。

⑥ 続いて「場所情報/施設情報」タブを選択して、以下のとおり各項の入力をおこなう。

【測地系】“01”と入力する。

【境界座標】入力不要のため「対象地域なし」ボタンを選択することにより“99999999”を入力する。

【建物名称】入力不要。

⑦ 次の「水系-路線情報」タブは設定する必要がある項目はないため、入力不要。

⑧ 続いて「発注者/受注者」タブを選択して、以下のとおり各項の入力をおこなう。

工事情報

適用要領: 工事完成図書電子納品等要領 平成28年3月 国土交通省

工事件名等1 | 工事件名等2 | 場所情報/施設情報 | 水系-路線情報 | **発注者/受注者** | その他

発注者

コード(Q): 選択(E)...

大分類(L): 民間

中分類(M): (株)〇△□

小分類(S): 代表取締役 〇〇〇〇

発注者名(N):

担当者名(P): E-mail:

受注者

コード(K):

受注者名(G): (株)〇〇〇〇

■ は提出時の必須記入項目です

コリンス(C)... テクリス(T)... OK キャンセル

【コード】発注者コードについては、官公庁発注の場合のみ「選択」ボタンを押して一覧より該当する項目を選択するものとする。民間発注の場合は、次項以下（大・中・小分類）の各項に直接入力し、「コード」は入力不要とする。

【大分類】官公庁以外の場合は“民間”と直接入力する。

【中分類】官公庁以外の場合は工事申込者の団体名を直接入力する。

【小分類】官公庁以外の場合は工事申込者の代表者名を直接入力する。

【発注者名】入力不要。

【担当者名】入力不要

【コード】受注者のコードは入力不要。

【受注者名】施工業者名（工事を申請した指定給水装置工事事業者名）を直接入力する。

⑨ 次の「その他」タブは設定する必要がある項目はないため、入力不要。

工事情報

適用要領: 工事完成図書電子納品等要領 平成28年3月 国土交通省

工事件名等1 | 工事件名等2 | 場所情報/施設情報 | 水系-路線情報 | 発注者/受注者 | **その他**

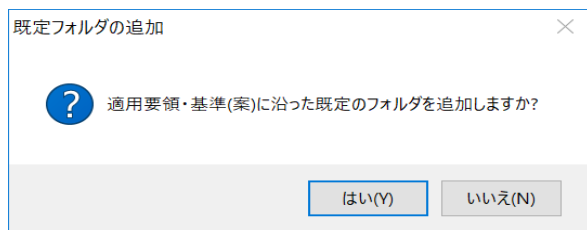
予備(E):

■ は提出時の必須記入項目です

コリンス(C)... テクリス(T)... OK キャンセル

- ⑩ 全ての必要項目を入力し終わったら「OK」ボタンを選択する。以下のようなウィンドウが自動的に開くので、基本的には「いいえ」を選択する。

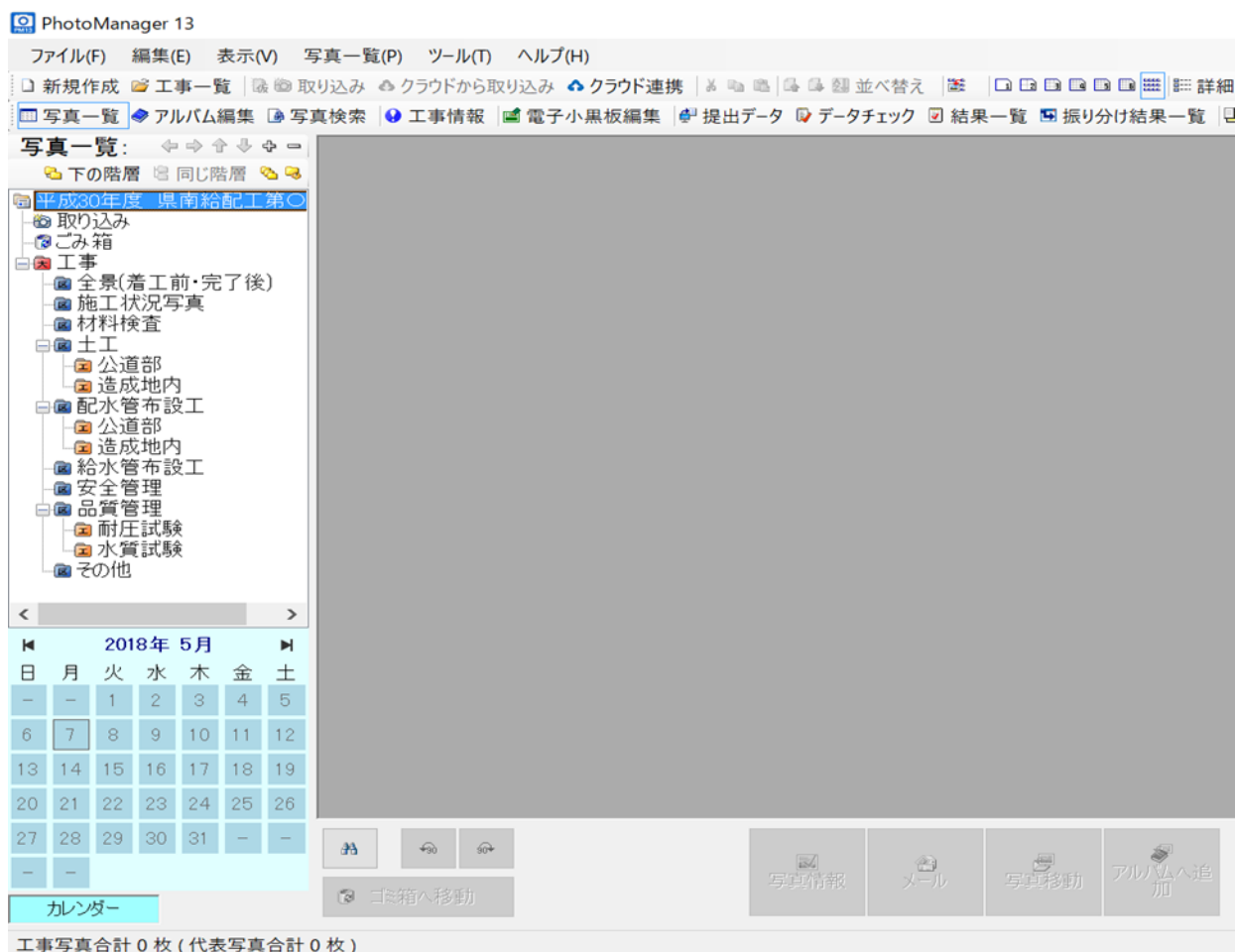
※ 工事内容により必要なフォルダを個々に作成して分類することとなるため。



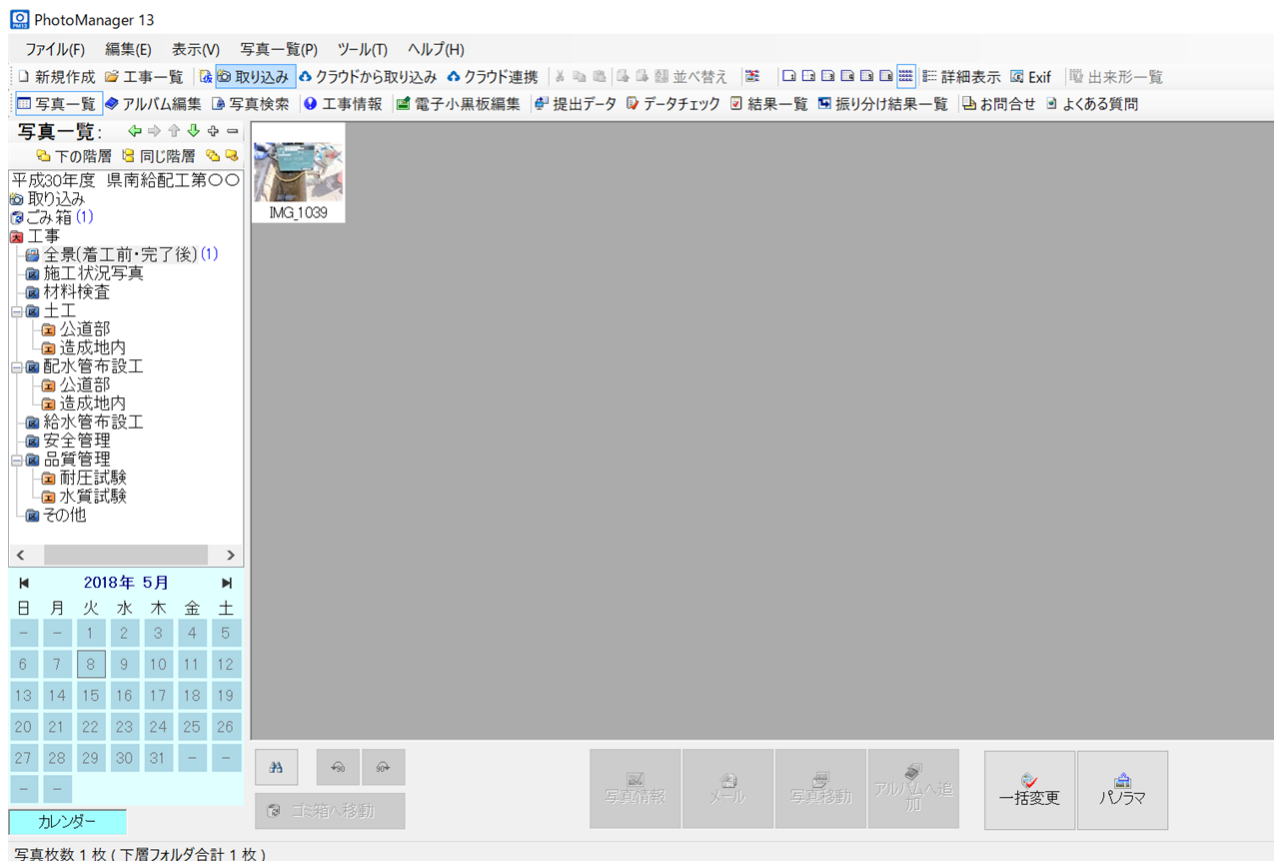
- ⑪ QuickProject PhotoManager のメイン画面が開くので、写真管理のため画面左側のフォルダ階層部を操作して以下の例を参考に適切なフォルダ編集をおこなう。

なお、撮影工種・区分については、国土交通省のデジタル写真管理情報基準には準拠せず、企業団「給水装置工事設計及び施工基準」及び本手引書に基づいて分類すること。

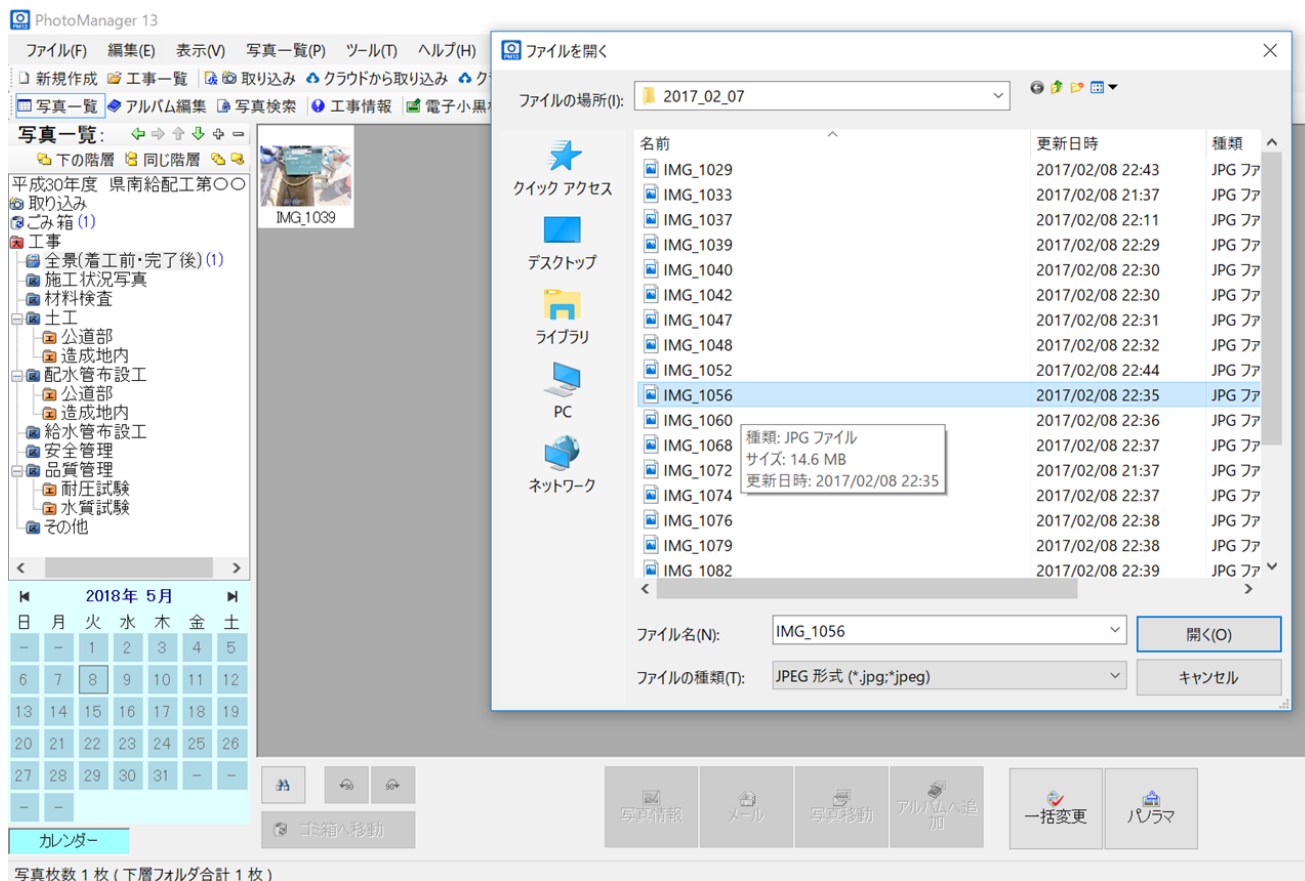
[フォルダ作成例]



⑫ 工事記録写真の取り込みをおこなう。上部メニューより「取り込み」を選択する。



⑬ 取り込むファイルを保存してある場所を指定してファイルを読み込む。

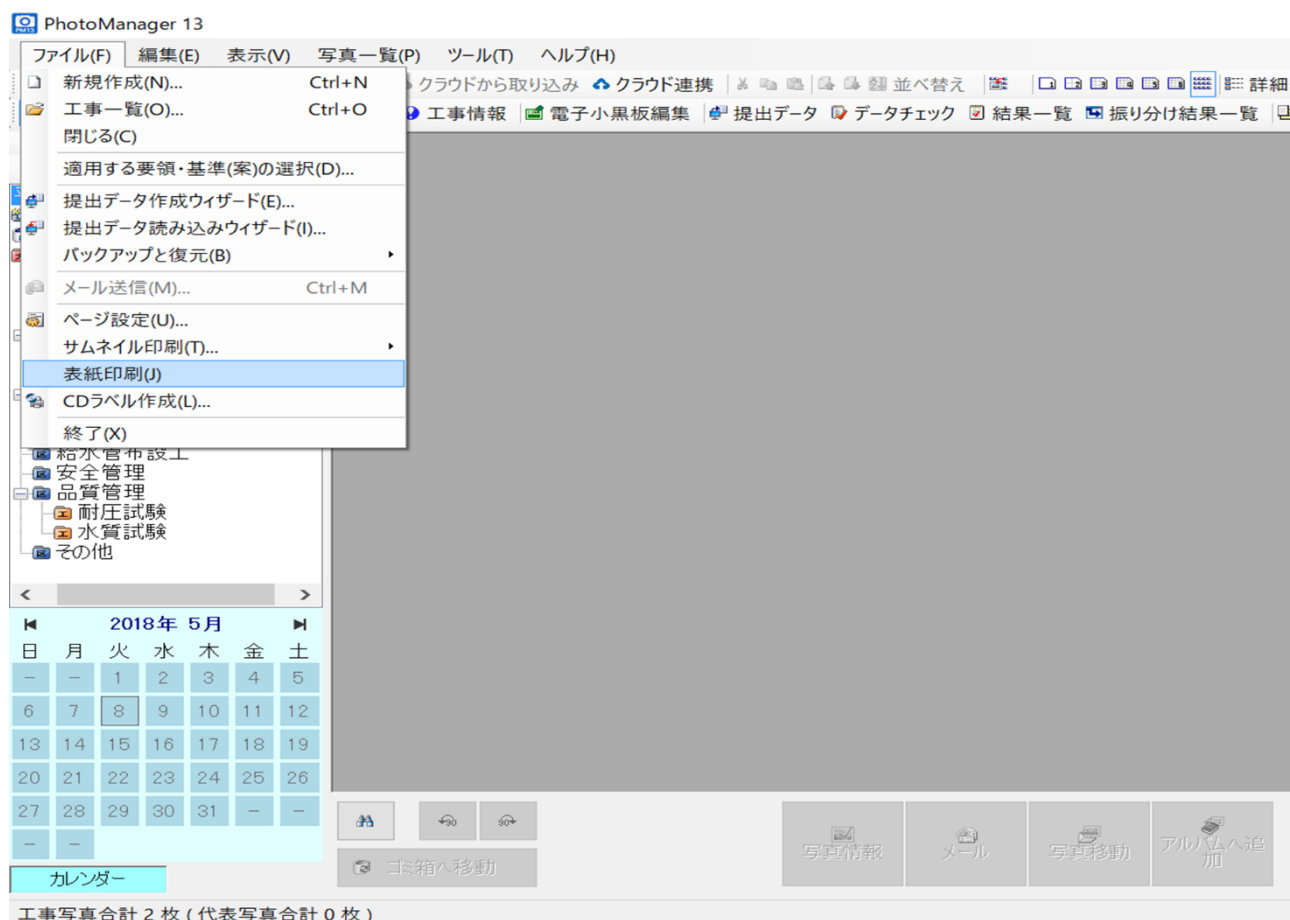


- ⑭ 以降は工事記録写真ファイルを取り込みながらフォルダを編集しつつファイルの整理をおこなう。

2) 工事記録写真帳の作成

以下の手順に従って、必要な処理をおこなうこと。

- ① 上部メニューより「表紙印刷」を選択する。



- ② 上部メニューより「エクスポート」を選択するとワードファイルが開くため、不足次項を入力し、工事記録写真帳の表紙を印刷する。

印刷プレビュー

The screenshot shows a Microsoft Word print preview window. The title bar reads "Microsoft(R) Word に表紙を出力します". The menu bar includes "閉じる", "印刷", "設定", "拡大", "縮小", and "エクスポート". The main content area displays a form for a construction photo album cover. The form has a large title "工事写真" (Construction Photos) at the top. Below it are several fields with labels and values:

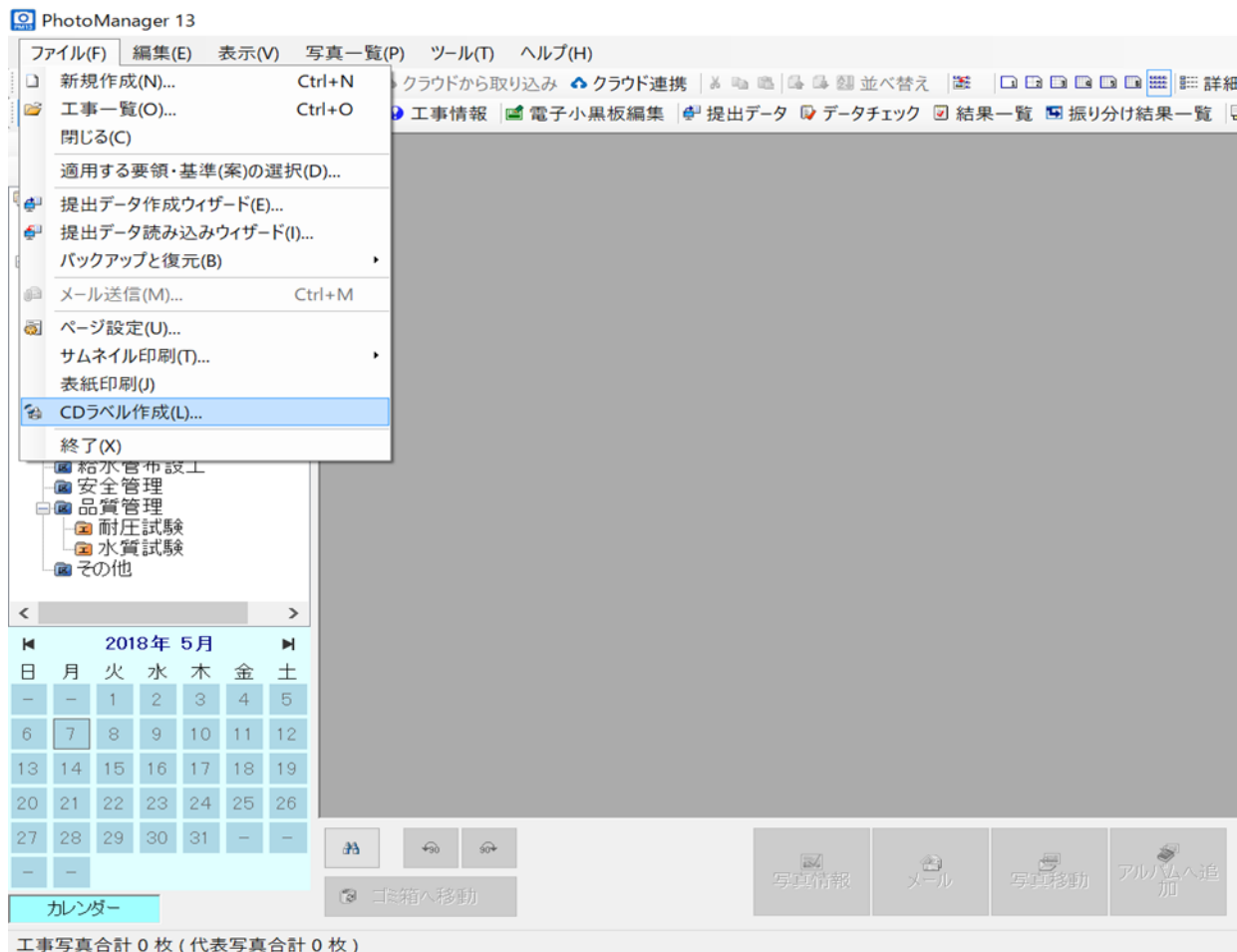
工事名称	平成30年度 県南給配工第〇〇号
工事箇所	
工期開始日	平成30年 5月2日
工期終了日	平成30年 8月31日
受注者名	(株)〇〇〇〇

At the bottom right of the page, it says "1 / 1 ページ".

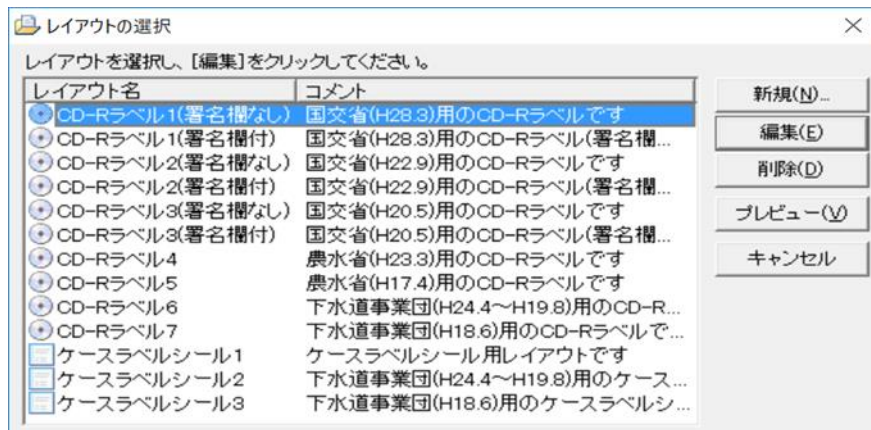
3) ラベル印刷

以下の手順に従って、必要な入力をおこなうこと。

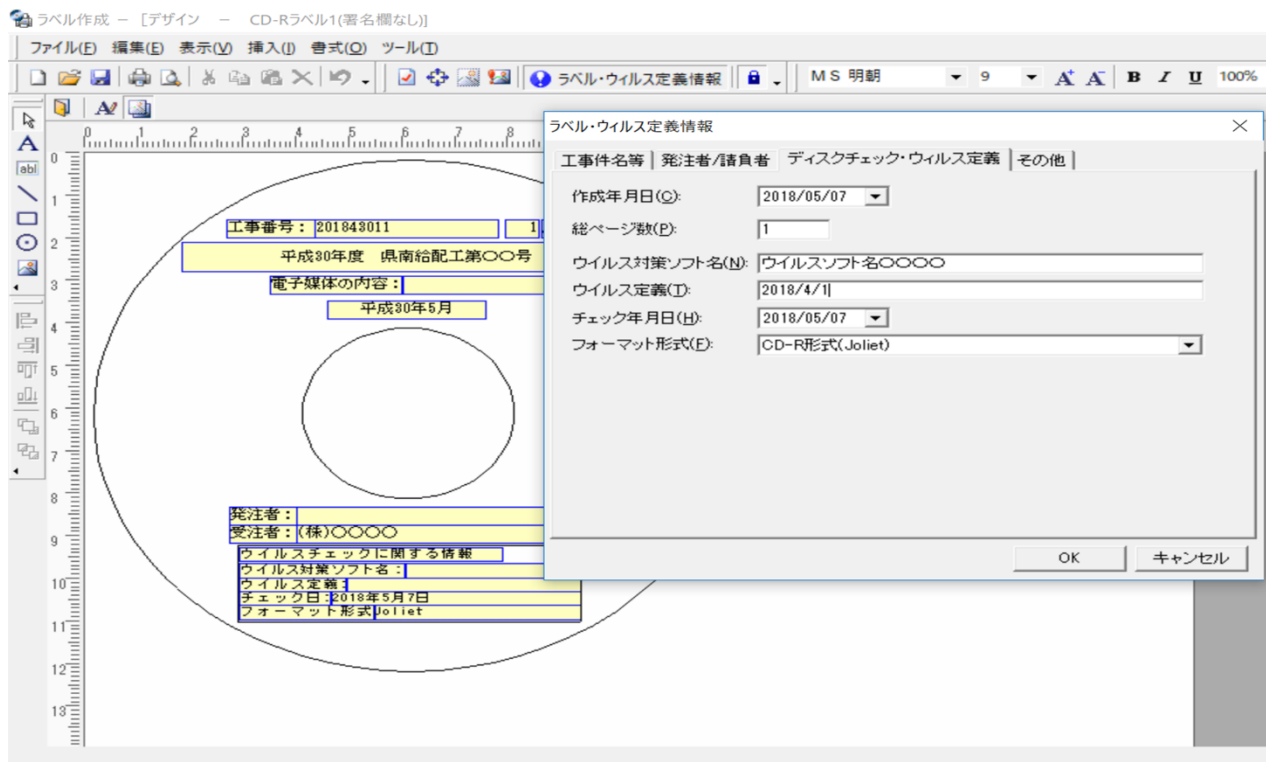
- ① QuickProject PhotoManager のメイン画面の上部メニューより「CDラベル作成」を選択する。



- ② 下図のとおり「CD-Rラベル 1(署名欄なし)」を選択し、「編集」ボタンを選択する。

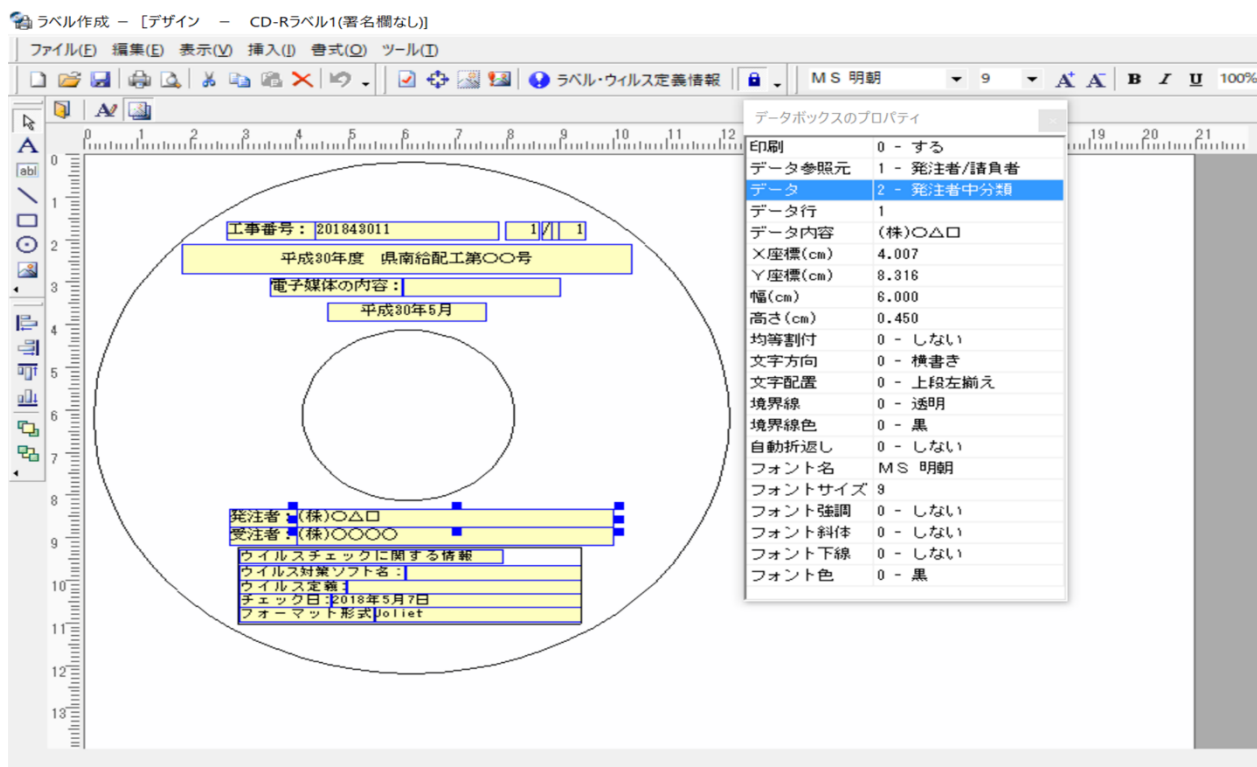


- ③ 画面上にラベル印刷項目が記載された状態が表示される。基本事項については、すでに入力した工事情報より自動的に反映入力されるので不足箇所について直接入力する必要がある。画面上部のメニューより「ラベル・ウイルス定義情報」ボタンを押すとウィンドウが開くので「ディスクチェック・ウイルス定義」のタブを選択し、以下のとおり入力する。



- 【作成年月日】 提出用CD-R（もしくはDVD-R）を作成した日を入力する。
- 【総ページ数】 原則1枚に竣工図及び工事記録写真のデータをまとめて提出することとなるため、“1”を入力する。
- 【ウイルス対策ソフト名】 電子データをチェックするウイルスソフト名を入力する。
- 【ウイルス定義】 当該ウイルス対策ソフトの定義ファイルの作成年月日もしくはバージョンを入力する。
- 【チェック年月日】 当該データのウイルスチェックをおこなった年月日を入力する。
- 【フォーマット形式】 電子媒体の形式（CD-RもしくはDVD-R）を選択する。

- ④ 「発注者情報」が自動的に表示されない場合は、発注者情報表示欄をダブルクリックしてプロパティを開き、「データ」項目から表示したい項目を選択する。



(4) 竣工検査

給水装置工事主任技術者並びに企業団がおこなう検査については、企業団「給水装置工事設計及び施工指針 16. 竣工検査 -P202-」に基づいておこなうものとする。

給配水管設備工事の手引き

平成30年 4月 1日 施行

令和4年 4月 1日 改訂